

【平成 30 年度実践】

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時	平成 30 年 10 月 12 日（金）
会 場	川西市立清和台中学校
指 導 者	教諭 西岡 なつほ
対 象	第 1 学年 1 組（38 名）

1 題材名 生活を豊かにするための布を用いた物の製作をしよう B（5）ア，イ

2 題材の目標

不要になった衣服や布を使った製作に取り組むことを通して，資源や環境に配慮し，生活を豊かにするための物の製作を工夫することができる。

3 題材設定の理由

(1) 題材観

生徒たちの衣生活を取り巻く環境は，大量生産された製品であふれ，インターネットや大型量販店等により，簡単に手に入れることも可能になった。まだ着られる衣服があるのに，流行ではないという理由で新たに購入したり，ファストファッションに代表される安価な商品を買って求めたりという大量消費の時代といえる。その反面，資源の無駄遣いや環境破壊について問題視され，循環型社会を目指す活動が広がってきている。

そこで，家庭で不要になった衣服や布を使った製作に取り組むことにより，計画から製作・交流の中で，資源や環境に配慮する姿勢を育むことを目的とした。また，どのような工夫を作品に施すかを考えさせるのに適した題材である。

(2) 生徒観

中学生期は衣服の着用に対する興味・関心が高まり，個性を表現する衣服の着方を工夫しようとする生徒が多くなる。しかし，多くの生徒は何らかの理由で着られなくなった衣服の処分を家族に任せているため，その行方に対しては関心が薄い。また，家庭生活や授業で布を用いた物を製作する機会が少なくなっていることで，製作に苦手意識を持つ生徒が増えてきているが，実習では意欲的に取り組む姿勢がみられる。

(3) 指導観

本題材では，不要になった手持ちの衣服や布から自分や家族，トライやる・ウィーク等で触れ合う地域の人々の生活を豊かにする物を製作できることに気付かせ，資源や環境に配慮した物の製作計画を工夫しようとする態度を育成したい。製作計画では，ゲストティーチャーによる作品や説明から物を作り出す楽しさ，製作を通して豊かな気持ちになることを感じ取らせたい。また，アドバイスから布を無駄なく使う工夫や目的に応じた縫い方等を学び，基礎的・基本的な知識や技能も習得させたい。そして，ものづくりの楽しさや成就感を味わうこと，実際に活用した時の気付きを大切にすることで，製作に苦手意識を持つ生徒に自信を持たせたい。また，計画から活用までの内容の意見交流を行う中で，製作方法・改善策の検討・問題解決的な学習に取り組むことで，実践的な態度を育成したい。

4 題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術につい ての知識・理解
不要になった衣服 や布について関心 を持ち,主体的に物 の製作に取り組み, 衣生活をよりよく しようとしている。	生活を豊かにする ための物の製作に ついて課題を見付 け,その解決を目指 して,工夫してい る。	生活を豊かにする ための物の製作に ついて計画を立て て製作できる。	環境に配慮した消 費生活や布を用い た物の製作に関す る基礎的な知識を 身に付けている。

5 指導計画と評価基準 (全8時間)

時 間	○ねらい ・学習活動	指導 項目	評価規準・評価方法			
			関・意・態	工夫・創造	技能	知識・理解
2	○生活を豊かに するための物の 製作計画を工夫 することができる。 ・ゲストティー チャーの話を開 き,製作手順の 見通しを持つ。 ・目的に応じた縫 い方を考え,製 作計画について グループで交流 し改善する。 ※展開例1	B(5) アイ	不要になっ た衣服や布 について関 心を持ち, 製作計画を 立てること ができる。 (観察)	生活を豊か にするため の物の製作 計画を工夫 している。 (ワークシ ート)		環境に配慮 した消費生 活について 理解してい る。 (ワークシ ート)
5	○基礎的・基本 的な知識及び技能 を活用し,工夫 して製作するこ とができる。 ・安全に配慮し, 計画に沿って, 製作する。 ・作品に製作を豊 かにするための 工夫をする。	B(5) アイ	衣服製作に 関心を持 ち,主体的 に物の製作 に取り組も うとしてい る。 (観察)	生活を豊か にするため の製作品を 考え,自分 なりに工夫 している。 (ワークシ ート)	計画に沿っ て,能率よ く安全に製 作すること ができる。 (製作品)	目的に応じ た縫い方や 用具の安全 な使い方につ いて,理 解してい る。 (ワークシ ート・製 作品)
1	○製作品につ いての意見交 流し,改善方法 を考えることが できる。 ・グループで製 作品について発 表し合い,課題 や改善方法を 考える。 ※展開例2	B(5) イ	発表に関心 を持ち,課 題や改善策 を考えよう としている。 (ワークシ ート)	発表を聞 き,製作に ついて課題 を見付け, その解決を 目指して, 工夫してい る。 (ワークシ ート)		

6 展開例1(2/8時間)

(1)本時の目標

- ・ 自分や家族, 地域の人々の生活を豊かにするための製作計画を工夫することができる。

(2)本時の学習展開

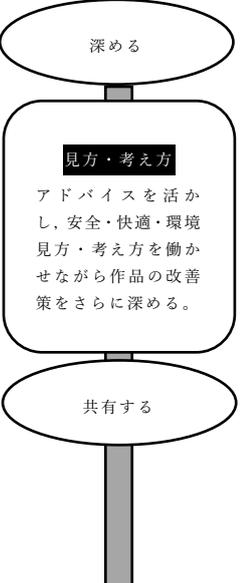
学びのプロセス 見方・考え方	具体的学習活動	指導・支援・評価
<p>導入</p> <p>意欲を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の振り返り ・ 本時の目標と流れを知る 	<p>【補助発問】</p> <p>ゲストティーチャーとの授業について振り返ろう。</p> <p>製作のルールを確認しよう。</p> <p>【ICT】</p> <p>ゲストティーチャーとの授業の様子や作品をプレゼンテーション資料で見せておく。</p>
<p>展開1</p> <p>確認する</p> <p>見方・考え方</p> <p>前時のアドバイスを活かし、安全・快適・環境の見方・考え方を働かせて製作計画になっているか確認する。</p>	<p style="text-align: center;">よりよい製作計画にするために大切なことを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい製作計画にするための観点(安全・快適・環境)について全体で確認する。 ・ 前時の製作計画をゲストティーチャーのアドバイスや家庭での材料探しをもとに, 課題を考える。 <p>予測する生徒の反応</p> <p>A…持ち手が外れたりしたら危ないし, 重いものが入れられない。</p> <p>B…綿が入っている方が座り心地がよさそう。</p> <p>C…ひもよりゴムの方が小さい子でも使いやすい。</p>	<p style="text-align: center;">よりよい製作計画にするために大切なことを考えよう。</p> <p>【補助発問】</p> <p>物の製作計画の中に安全・快適・環境に配慮できているか確認してみよう。</p> <p>【支援】</p> <p>具体物を使って, 安全・快適・環境に配慮した例を示す。</p>
<p>展開2</p> <p>話し合う</p> <p>見方・考え方</p> <p>製作計画について意見交流を行い、安全・快適・環境の見方・考え方を働かせて改善点を考え、話し合う。</p> <p>共有する</p> <p>振り返る</p>	<p style="text-align: center;">製作計画について発表し、意見交流を行おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自の製作計画をグループ内で発表する。 ・ 「困ったことや苦労したこと, 教えてほしいこと」について意見交流し, 改善策を考える。 <p>予測する生徒の反応</p> <p>A…持ち手の部分は取れるといけなから, ミシン縫いをするか, 本返し縫いをするかと思う。</p> <p>B…ポケットをつけるとさらに実用的で便利になりそう。</p> <p>C…丈夫な作品にするためには, どんな縫い方を取り入れるとよいだらうか。</p> <p style="text-align: center;">改善した製作計画を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善しよりよくなった製作計画を全体へ向けて発表する。 	<p style="text-align: center;">製作計画について発表し、意見交流を行おう。</p> <p>【補助発問】</p> <p>デザインや用途に合っているか, 安全で丈夫なつくりか, 環境への配慮等, さらによりよい製作計画にするためのアドバイスを話し合おう。</p> <p>【補足説明】</p> <p>前時からの課題として, 製作に必要な材料を検討することやゲストティーチャーのアドバイスを受け, 改善点を見付けることを設定しておく。</p> <p>【支援】</p> <p>付箋を使って意見交流を行う。</p> <p>縫い方標本や布選びについての資料を示す。</p> <p>【ICT】</p> <p>実物投影機とテレビでワークシートを写す。</p> <p>評価</p> <p>ワークシートの「困ったことについて受けたアドバイスから再計画しよう」の欄にアドバイスを参考にした改善点を書けているか。</p>
<p>まとめ</p> <p>振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の振り返り ・ 次時の課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時内容の整理 ・ 次時の課題の方向付け

7 展開例2(8/8時間)

(1) 本時の目標

- ・意見交流を通して、作品の材料や縫い方・製作手順などの課題や改善方法を考えることができる。
- ・自分や家族、地域の人々の生活を豊かにするための物の製作に取り組み、衣生活を工夫し、創造できる。

(2) 本時の学習展開

学びのプロセス 見方・考え方	具体的学習活動	指導・支援・ 評価
導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時までの振り返り ・本時の目標と流れを知る 	【補助発問】 生活を豊かにするための物の活用について振り返ろう。 【ICT】 プレゼンテーション資料を使い、説明をする。
展開1  <p>見方・考え方 発表を聞き、安全・快適・環境の見方・考え方を働かせながら作品のよいところや改善点などに気付く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 作品の活用について発表し、意見交流を行おう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・作品についてグループごとに発表する。 ・作品に対する思いや活用を通して気付いたこと、良いところや改善策等の意見をもらう。 <p><u>予測する生徒の反応</u> A…ポケットやファスナーを生かした作品づくりができていね。 B…長く使うためには、持ち手の部分はミシン縫いの方が良さそう。</p>	【補助発問】 作品の見た目だけにとらわれず、用途に合った丈夫な縫い方等、安全・快適・環境に配慮できているか、使い手の立場に立って確認しよう。 【支援】 付箋を使って、意見交流を行う。
展開2  <p>見方・考え方 アドバイスを活かし、安全・快適・環境見方・考え方を働かせながら作品の改善策をさらに深める。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 意見交流を通して、課題や改善策を工夫しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・作品について、アドバイスを参考にし、課題や改善策を工夫する。 <p><u>予測する生徒の反応</u> A…ポケットをつけるとさらに実用的で便利になりそう。 B…Tシャツじゃなくてハンカチからでも作ることができそう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 実践の成果と課題を発表しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・数名ピックアップし、計画から製作、活用についての成果と課題の改善策等を全体へ向けて発表する。 	【補助発問】 さらに良い作品につなげるための工夫をしよう。 【ICT】 実物投影機とテレビで作品を映す。
まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返り ・次時の課題 	【補助発問】 授業を通して、自己評価を行おう。また、これからの製作に生かしたいことをワークシートに記入しよう。 【評価】 ワークシートの今後の課題欄に対して改善策が書けているか。